冬季わんにゃんドックセットのご説明（10月～3月）

◎印：セット項目　　△印：オプション項目　　セットの年齢はあくまでも目安で、どちらのセットもお選び頂けます。

	５歳までの犬	６歳以上の犬	５歳までの猫	６歳以上の猫	備考
一般診察	◎	◎	◎	◎	視診・聴診・触診を行います。
尿検査	◎	◎	◎	◎	尿路感染や尿石症の診断のほか、尿糖、蛋白尿、低比重(うすい)尿などから尿路以外の病気につながることもあります。
検便	◎	◎	◎	◎	主に消化管内寄生虫の確認です。
血球検査	◎	◎	◎	◎	白血球・赤血球・血小板の検査です。
血液生化学検査	◎	◎	◎	◎	血糖・蛋白・脂質・肝・腎などの、血液スクリーニング検査とよばれる基礎的なものです。
腹部エコー	◎	◎	◎	◎	主要な臓器の内部構造を確認します。
心臓エコー	△	△	△	◎	主に聴診で心雑音が入る犬猫にお勧めしますが、猫に多い心筋症は無症状・無雑音のこともよくあります。
胸部X線	△	◎	△	◎	気管や肺の観察に優れています。
腹部X線	△	◎	△	△	臓器の位置関係のほか、エコーでわかりにくい胃腸のガス、石灰化病変、尿路結石等も観察します。
心電図	△	△	△	△	聴診で不整脈が疑われたり、心疾患を持っている犬猫で行うことがあります。
FIV／FeLV	―	―	◎※1	◎※1	猫エイズと猫白血病ウイルスの検査です。感染すると免疫力や治癒力の低下、貧血、腫瘍などを引き起こします。多頭飼育の際は同居猫にうつることもあります。
甲状腺ホルモン	△	◎※2	△	◎※2	中高齢になると犬では機能低下症、猫では機能亢進症が多くみられます。
糖化アルブミン	△	◎	△	◎	過去２週間位の平均血糖値を反映します。糖尿病診断のほか、特に猫はストレスによる一過性高血糖との区別に役立ちます。
CRP蛋白	△	◎	―	―	犬の炎症反応の際に、白血球数より鋭敏に上下します。
血清アミロイドA	―	―	△	◎	猫の炎症反応の際に、白血球数より鋭敏に上下します。
リパーゼ(DGGR基質法)	△	◎	△	◎	猫の膵炎は症状がはっきりせず、大半が見落とされているようです。一方で糖尿病、胆管肝炎、炎症性腸疾患等との関連が強い病気です。(死因に関係なく剖検猫の67%、無症状で健康な猫の45%に病理検査上の膵炎が見つかったとの報告があります)
スケーリング (全身麻酔下歯石除去)	△	△	△	△	20kg未満での処置(麻酔料＋歯石除去料＋抗生剤･消炎鎮痛剤注射)の目安は ￥20,500～が → 20%OFFで￥16,400～ ですが、体重や歯の状況により異なるため、概算はご相談下さい。検査上麻酔に支障がある際はできません。
セット通常価格 (オプション別途加算)	￥13,900	￥29,800	￥18,100	￥34,300	※1 飼育条件によって省略が可能なケースがあります。 ※2 セットの測定はT4のみ、T3,fT4,TSHは別料金となります。
20%OFF！	→ ￥11,120	→ ￥23,840	→ ￥14,480	→ ￥27,440	表示価格は全て税抜き価格で、別途消費税が必要です。
報告日	当日報告	後日報告	当日報告	後日報告	当日報告の項目　後日報告の項目　別日の処置です

わんにゃんドックの注意点

検査のご予約

①「5歳まで」セットか「6歳以上」セットか、どちらかをお選び下さい。
　※セットの◎の項目は猫のFIV/FeLV以外、セットから除外することはできません。
②ご希望のオプションがあればお選び下さい。後日報告の項目は1週間後位が目安になります。
③ご希望の検査日をご予約下さい。他の手術や検査との調整が必要になりますので、いくつか候補を頂けると助かります。
　ご来院頂くお時間はその際にお伝え致します。
　事前にご来院頂ければ尿・便用の容器をお渡し致します。

検査当日

①深夜0:00以降は絶食をお願いします。飲水制限は必要ありません。
②当日朝の便と尿の採取をお願いします。混入物は検査結果に影響するため、できるだけきれいに採取して下さい。
　尿は数ml、便は小指の先位で結構です。シーツや紙類に染み込んだものは検査不可です。冷やさず常温でお持ち下さい。
　どうしても取れなかった際は病院での採取を試みますが、検査ができなかった場合でもセット料金からの割引はありません。
③受付で簡単な問診票をご記入頂きます。お電話番号は緊急時やお迎えの際につながる番号をご記入下さい。
④検査が終わりましたらお電話を差し上げますので、お迎えにお寄り下さい。
　当日報告のセットの結果はお迎えの際にご説明致します。後日報告のセットの結果は約1週間後のご説明となります。

注意点

①事前にお申込み頂いたセットとオプションは20%引きの価格となりますが、検査後にお申込み頂いた項目、ならびに経過観察のための検査は通常料金とさせて頂きます。
②わんにゃんドックは全て予約制となります。
③わんにゃんドックは全ての異常を見つけられる検査ではなく、異常を認めなかったからといって今後の健康を保証するものでもありません。追加の検査が必要になったり、繰り返しの検査で経過を追跡する可能性もあります。
④犬猫の性格や大きさにより検査ができない場合もあります。ご了承下さい。

歯石除去に関する注意点

①全身麻酔が必要なため、わんにゃんドックと同じ日に行うことはできません。検査結果が麻酔をかけるに際して支障がないようであれば日程を決めていきます。
②動物の大きさ、基礎疾患、口腔内の状態によって料金が異なります。概算を出すことができますのでご相談下さい。
③処置の内容、麻酔からの回復具合にもよりますが、通常は午前中にお預かりし、18:30～19:00頃に退院となります。